

YMIワールド 2025-26 第7号

あけまして  
おめでとう!



# YMI WORLD

「強い義務感を持とう 義務はすべての権利に伴う」

ワイズメンズクラブ国際協会

2026年1月



国際ワイズメネットとルーマニアYMCAは、教育、福祉、文化交流を融合させた変革的な放課後プログラムを通じて、ウクライナ難民の子どもたちに希望と癒しをもたらしています。



# 瞑想 主の祈りについて

ヴィリー・モルゴー（国際キリスト教強調事業主任）  
ドイツの神学者イェルク・ツィンクの著作から翻訳および改訂

天の父よ、私たちが試みに遭わせず、悪からお救いください。あなた以外に、私たちが安全に守れる者も、自由にできる者もいません。

私たちが「試みに遭わせず」と祈るとき、私たちが指しているのは、心を惑わしたり感覚を混乱させたりする小さな衝動や、私たちが陥ってしまう情熱のことではありません。私たちが指しているのは、一つの大きな誘惑です。天の父なる神よ、多くの出来事は、目に見える意味もなく起こるのです。

「何も意味が分からない」と言わせないようにしてください。それが私たちが最も恐れる誘惑です。世の中には嘘が溢れています。

「真実など存在しない」と言わせないようにしてください。多くの悪、多くの苦しみ、そして不幸が起こります。

「これを見る神はいない」と言わせないようにしてください。暴力と邪悪が蔓延しています。

「悪は、より強く、暴力は、正当化される」と言わせないように、私たちを守ってください。あなたの臨在、力、そして支配を疑う誘惑に陥らないようにしてください。偽りがあなたよりも強く、不正があなたの正義よりも大きいと考えさせないようにしてください。

あなたの手を離し、私たち自身の力で人生を支配しようとし、嘘や暴力、不正に訴える誘惑に陥らないでください。私たちがしっかりとあなたの手で握ってください。

悪からお救いください。父なる神よ、私たちは、鎖で縛られているかのように、罫にかかっていることを知っています。

私たちは、信じたいと切望しながらも、信じていないかのように生きています。

私たちは、愛することを切望していますが、ほとんど自分のためだけに生きています。

私たちは、真実に仕えたいと切望していますが、嘘の前には千回も屈服しています。

私たちは、あなたに仕えたいと切望していますが、あなたの「言葉」を信頼するのに苦労しています。あなたが本当に主であると信じるのに苦労しています。

父なる神よ、私たちが自由にしてください。悪魔、誘惑者サタンと呼ばれる闇の力から私たちを解放してください。何よりも、私たち自身から私たちを解放してください。あなたには、できます！私たちは、あなたにはできる、そして必ずそうすると信じています。あなたの王国は、あなたのものです。私たちが永遠にあなたの自由な子となるために、その王国に入らなければならないのです。

あなたには、その力があります。それは、あらゆる弱い力に終止符を打つ力です。

栄光は、あなたのものです。栄光の輝き、光の洪水の中で私たちは、永遠にあなたを見つめるでしょう。

アーメン



# 目次

この出版物の内容は、YMIクラブの献身的な会員および役員の寄稿によるものであり、心から感謝申し上げます。また、外部からの記事やメッセージも随時掲載されることがあります。その場合は、寄稿者の方々に改めて感謝の意を表します。

	ページ
<b>キリスト教強調：瞑想 「主の祈り」について</b> ヴィリー・モルゴー キリスト教強調国際事業主任	2
<b>国際会長メッセージ</b> エドワード・オン 国際会長	4
<b>国際本部ニュース</b> ジョース・ヴァルギース 国際書記長	5
<b>コシー・マシューへの最後の別れ</b>	6
<b>100日会員増強キャンペーン - 新クラブの概要</b>	7
<b>エンダウメント基金（EF） YMIの未来を強化する</b> フランシス・アブラハム EF推進国際事業主任	8
<b>国際ワイズメネット：ウクライナ難民支援プロジェクトの成功を祝う</b> ジョイ・マクナマラ 国際ワイズメネット・プロジェクトコーディネーター	9
<b>アフリカ地域ニュース</b> ジョウン・マティ アフリカ地域ニュース編集者	11
<b>iGo インターン生、メアリー・シミュに関する最新情報</b>	12
<b>アジア太平洋地域ニュース</b> 利根川恵子 アジア太平洋地域ニュース編集者	13
<b>カナダ/カリブ海諸国地域ニュース</b> サンドラ・ハミルトン 元地域会長	14
<b>ヨーロッパ地域ニュース</b> ビルジット・ジェイコブセン ヨーロッパ地域ニュース編集者	15
<b>国連デー</b> ロイズ・マラセリー 国連プロジェクト委員会メンバー	16
<b>インド地域ニュース</b> ジョセフ・ヴァルギース インド地域ニュース編集者	17
<b>韓国地域ニュース</b> チョン・ギョンジュ 韓国地域ニュース編集者	18
<b>米国地域ニュース</b> メラニー・カアイフエ・ヨシダ 米国地域ニュース編集者	22
<b>YMIドリームフェスティバル2026 - 登録</b>	24

## 編集長から

YMI ワールドに関するご意見やアイデアを共有するには、編集長にご連絡ください。  
2月は  
TOFとヒールザワールドの強調月間です。

インパクトのあるストーリーを投稿するには、以下をクリックしてください  
締め切り：2026年1月15日

[編集長へ](#)





## 信念、愛、行動

新年を迎え、今期後半に入り、ホリデーシーズンも終わりに近づいた今こそ、これまでに達成されたすべてのことを振り返るのに良い機会です。

クリスマスは、私たちにイエスの尊い贈り物を思い起こさせてくれました。イエスの模範は、2026年もYMIの旗の下、新たな決意とより強い緊急性を持って奉仕する私たちの意欲を掻き立て続けます。私たちは、共通の目的によって結ばれています。それは、地域社会において最後の、最も小さく、失われた人々に喜びと希望と愛をもたらすことです。これは、「失われたものを捜して救うために」（ルカ19:10）来られ、「後にいる者が先になり、先にいる者が後になる」（マタイ20:16）と私たちに教えてくださったイエスの教えを反映しています。この使命は、今期の私たちのテーマである「信念、愛、行動」と完全に一致しています。私たちの信仰は、困っている人々へと私たちを導く羅針盤となり、クリスマスのメッセージに象徴される愛は、奉仕への情熱と献身を燃え上がらせます。私たちが周囲のニーズに目を向けるとき、私たちの行動がクリスマスがもたらすのと同じ慈悲と善意の精神と共鳴し、私たちの信仰をすべての人々への具体的な愛の表現へと変えていきますように。

私のスローガン「共に、より強く」が、共通の目標を追求する私たちの結束を鼓舞し、強めますように。奉仕のリーダーとして、私たちは、謙虚さと思いやりを大切にし、真摯に奉仕したいという強い思いを胸に、共に手を携え、私たちが奉仕する地域社会において、可能な限り最良の成果を達成していきます。

過去6ヶ月間、世界中の村やコミュニティで、感動的なプロジェクトが展開されるのを目の当たりにしてきました。これらの取り組みは、火災、洪水、地震といった未曾有の自然災害の被災者を支援するために、真摯に、そして献身的に行われ、資金調達や人員動員など、多岐にわたります。地元のクラブや部は、YMCAと連携しながら、様々な形で支援やシェルターを提供し、集団行動とケアの力を示してきました。

前進する中で、社会の隙間に埋もれてしまう人々を探し出し、あらゆる奉仕の機会と関連する目標を確実に実現するという決意を揺るぎなく持ち続けましょう。私たちの組織の目標は、信念をもって奉仕し、愛をもって行動し、私たちが関わるすべての人々の人生に意味のある変化をもたらすことです。

あなたとご家族にとって祝福に満ちた新年となりますようお祈り申し上げます。

エドワード・K・W・オン 国際会長/YMIワールド編集長



# 国際本部ニュース

ジョース・ヴァルギース  
国際書記長

## 2026年に向けて共に前進

暦が変わり、新たな年を迎えるにあたり、国際本部は、感謝と希望に満ちた心で2026年を温かく迎えます。世界中のYMIクラブ会員、リーダー、そして友人の皆さまに、祝福に満ちた、喜びに満ちた、充実した新年をお祈り申し上げます。今年もまた、共通の価値観と奉仕への献身に導かれ、共に歩むことをお祈りいたします。

これからの1年は、YMIの歩みにおいて重要な節目となるでしょう。いくつかの重要なイベントが、私たちの共通の道を形作るでしょう。中でも特に注目すべきは、バリ島で開催される次期理事サミットと、ドバイで開催される第75回国際大会です。国際大会の超早割り料金475米ドルは、1月31日まで有効です。お忘れなく。2月1日から4月30日までは、通常早割り495米ドル、5月1日以降は600米ドルとなります。早期登録は、大変お得です！これらの世界的な集まりに加え、クラブ、エリア、区、そして国際レベルで、人々の生活に触れ、地域社会を強化する数多くの奉仕活動が展開されます。

過去6ヶ月間、私たちは、すでにビジョンと献身の力を実感してきました。YMIは、成長を続け、米国、韓国、ヨーロッパ、インド、そしてアジア太平洋地域で新しいクラブが結成されています。この着実な拡大は、世界中のYMIファミリーを育み、強化し続ける地域とエリアのたゆまぬ努力と献身的なリーダーシップを反映しています。

2026/27年度次期国際会長および次期国際会計選挙は、予定どおり12月12日に開始されました。投票は、2026年1月26日に締め切られるため、参加資格のあるクラブは速やかに投票を行い、この重要な選挙プロセスに積極的に参加することをお勧めします。次期国際会長候補者として、ジャマイカの元地域会長サンドラ・ハミルトン、ザンビアの地域会長ベズウェル・マシュー・ムペンブルワ、インドの直前地域会長V・S・ラダクリシュナンの3名の著名なリーダーが立候補しています。一方、次期国際会計の候補者として、デンマークの現国際会計スヴェンド・エリック・ニールセンとインドの国際議員ピルソン・ルイスが立候補しています。

選挙と並行して、国際本部は、YMIのパートナーであり、米国に拠点を置く非営利団体向けコンサルティング会社Triangle 2の支援を受け、「YMIの将来の夢に関する世界調査」を実施し、考察とビジョンの新たな章を開きます。この取り組みでは、すべてのクラブに、この運動への夢と抱負を共有するよう呼びかけています。この調査から得られた知見は、ドバイで開催される第75回国際大会で発表され、YMIの未来が会員の声によって形作られることを確かなものにします。今こそ、大胆に夢を描き、意義ある貢献を果たす時です。

1月は、YMIの長期的な持続可能性の礎となるYMIエンダウメント基金にも注目が集まります。この基金への寄付は、YMIが将来の世代に奉仕する能力を確保する上で役立ちます。クラブとクラブ会員の皆さまには、この事業に惜しみないご支援を賜り、私たちの運動の基盤を強固なものにしてくださいませようお願いいたします。

これからは、振り返りと刷新の時でもあります。国際本部は、現在、リーダー、委員会、タスクフォースから中間報告書を収集中です。これらの報告書は、これまでの進捗状況を評価し、今後数か月間、焦点を絞った目的意識のある道筋を描くのに役立ちます。私たちの使命への信念と、私たちの集合的な力への自信をもって、2026年を成長、友情、リーダーシップ、そして影響力のある奉仕の年として迎えましょう。共に、より強く、より団結し、そして刺激を受けながら、YMIの旅を続けていきましょう。





## YMIの謙虚な奉仕者への最後の別れ コシー・マシュー



2025年12月2日、ワイズメンズクラブ国際協会は、最も献身的で謙虚な奉仕者の一人であるコシー・マシューに惜別の別れを告げました。20年以上にわたり、コシーは、YMIに忠実に奉仕し、あらゆる行動において組織の中核的価値観を体現してきました。

クラブから国際協会まで、コシーの貢献は目覚ましいものでした。しかし、彼の最も永続的な功績は、彼が10年近く務めたYMIワールド編集長としての功績です。彼の指揮の下、この雑誌は、世界中のワイズメン・コミュニティを繋ぎ、情報を提供し続けました。2016年、彼が提案した「ワイズメンズワールド」から「YMIワールド」への改名は、包摂的な社会への変革と現代化に向けた前向きな一歩であり、今日のYMIのコミュニケーションのあり方を形作りました。

コシーは、また、YMIの様々な側面を簡潔にまとめた学習シリーズ「インフォメーション・ナゲット」を作成し、世界中の会員から高く評価されました。また、YMI創立100周年記念プロジェクト「レガシー・ストーリーズ・シリーズ」の主要メンバーでもあり、YMIの歴史と精神を100の物語で表現しました。自らを「情報採掘者」と呼ぶコシーは、好奇心、緻密さ、そして静かなる決意を組み合わせ、あらゆる取り組みにおいて明快さと正確さを常に心がけていました。

コシーは、インパクト・コミュニケーション・チームでも優れた貢献を果たし、2024/25年度には委員長を務め、2025/26年度も病気にもかかわらず現役メンバーとして活躍しました。特に2025年10月中旬のZoomミーティングでの彼の思慮深い貢献は、YMIのウェルビーイングと戦略的コミュニケーションの目標を自身の健康問題よりも優先し、YMIのグローバルプレゼンスとデジタルインパクトの強化に向けてチームを率いた彼の献身的な姿勢を如実に示しています。

コシーの影響は、出版にとどまりませんでした。生涯を郵便切手収集家として過ごした彼の最後の寛大な行為の一つは、ビルディング・フェロウシップ（BF）プログラムを支援するために、自身の切手コレクションを寄付したことでした。この寄付に触発され、南中央インド区のBF切手収集担当者たちは、コシーの寛大な支援を受けて、12月1日にバンガロールにて、美しくデザインされた6枚の切手からなる記念品を発売しました。ジョージクッティ・T・Aが主導したこの取り組みは、BF基金のために25,000インドルピー以上を集めました。12月14日、インド地域評議会において、ワイズメンのリーダーたちはBF切手収集家の取り組みを熱心に支援し、追悼の印として記念品を急いで購入することで、コシーの記憶を称えました。

コシーの影響は、職業的にも個人的にも大きなものでした。彼の忠誠心、温かさ、そして優しさは、大陸を越えて永続的な友情を築きました。彼は、精力的に奉仕し、常に助けを惜しまず、他者のニーズに寄り添いました。最期の日々においても、彼は、惜しめない貢献の方法を見出し、寛大さ、創造性、そして奉仕の精神という遺産を残しました。それは、私たちの運動をこれからも力強く支え続けるでしょう。

友人であり、編集長であり、YMIのたゆまぬ奉仕者であったコシー・マシューの生涯に感謝します。彼の奉仕、コミュニケーション、そして慈善活動を通して、彼は、私たちの心とワイズメンズクラブ国際協会に消えることのない足跡を残しました。彼の記憶がこれからも私たちの心に響き、友情、謙虚さ、献身、そして他者への奉仕において彼の模範に倣えますように。

さようなら、コシー。  
あなたがいなくなると本当に寂しくなります。

# 100日間会員増強キャンペーン

## 新クラブの概要

毎年9月1日から12月9日まで開催される「100日間会員増強キャンペーン」は、会員数の増加とクラブによる新クラブのスポンサーシップ促進に重点を置いています。先日終了したキャンペーンでは、22の新クラブが設立され、372名の新クラブ会員が組織に加わりました。

### アジア太平洋地域

- オーストラリア - メルボルン (16名)
- 台湾 - 台中グレートハーベスト (39名)
- 台湾 - イーラン (17名)

### インド地域

- 中東 - ソハール (16名)
- 北・東・北東インド - ジャトニ (15名)
- 南中央インド - ホスール・ディーバ (20名)
- 南西インド - ムカサラ (15名)
- 西インド - クナムクラム ロイヤルズ (15名)
- 西インド - クットゥパランバ・シロウズ (15名)
- 西インド - マットール (15名)

### 韓国地域

- 韓国全北 - 全州・ハナ (20名)
- 韓国全北 - 全州・ミラエ (16名)
- 韓国全北 - 全州・テヤン (15名)
- 韓国ソウル - ソウル・ビチュエ (15名)
- 韓国ソウル - ソウル・ビクサラン (15名)
- 韓国ソウル - ソウル・ガンドン (15名)
- 韓国西 - チョンアンビスフルウォーク (15名)
- 韓国西 - デジョン SASA (11名)

### 米国地域

- 北大西洋 - ニューヨーク・ハドソンバレー (22名)
- 北大西洋 - ニューヨーク・ロックランド (18名)
- 南大西洋 - トライアングル2 (17名)
- 南大西洋 - 西カバラス (10名)

これらの新しいクラブは、キャンペーン期間中のクラブ会員、エクステンションチーム、そしてスポンサークラブの共同の努力を反映しています。それぞれのクラブ設立は、地域奉仕活動を強化し、親睦とリーダーシップの機会を拡大します。

# エンダウメント基金(EF)

## YMIの未来を強化する



ワイズメンズクラブ国際協会は、1月をEFの強調月間と定めています。EF推進国際事業主任として、この尊敬すべき組織の長期的な財政的安定を強化するため、YMIのすべての会員の皆さまに惜しみないご支援を正式にお願いしたいと思います。

Iエドワード国際会長の要請に応え、2025年9月24日に地域事業主任のオンライン会議が開催されました。会議では、参加者が部および区レベルでのコミットメントを改めて確認し、今年のキャンペーンへの献金を最大限に増やすことを誓いました。EFに関する詳細は、YMI公式ウェブサイトでご覧いただけますが、会員の皆さまには以下の献金カテゴリーをご確認いただき、ご自身の経済状況に最も適したスキームをお選びいただくようお願いいたします。

### EF 献金種類の概要

1. 献金と賛辞 - CHF 150 (個人)、CHF 250 (クラブ)
2. ポール・ウィリアム・アレキサンダー・フェロー - CHF 150 (シングル)、CHF 300 (ダブル)
3. オナーロールメンバー - CHF 1,000 (シングル)、CHF 2,000 (ダブル)  
CHF 3,000 (トリプル)、CHF 5,000以上 (マルチプル)
4. オナーロールクラブ - CHF 1,000 (シングル)、CHF 2,000 (ダブル)
5. 家族表彰 - CHF 1,500 (シングル)、CHF 3,000スイスフラン (ダブル)、CHF 5,00 (マルチプル)
6. エンダウメントフレンド - CHF 50

すべての献金は、ジュネーブに保管されているゴールデنبックに適切に記録されます。会員は、EFへの献金を通じて、ワイズメンズクラブ国際協会の財政的持続可能性を確保する上で重要な役割を果たし、それによって、現在および将来のプログラム、取り組み、そして目標の継続的な推進を可能にします。

**フランシス・アブラハム**  
EF推進国際事業主任





## 国際ワイズメネット ウクライナ難民支援プロジェクトの成功を祝う

2024年、国際ワイズメネットは、ルーマニアYMCAの「Togetherness Project」への支援を決定しました。このプロジェクトは、当初、TOFプロジェクトの申請として提出されたもので、ウクライナ国境からわずか50キロのバイア・マレ市に住むウクライナ難民の若者のニーズに主に焦点を当てたものでした。ワイズメネットは、このプロジェクトの重要性を認識し、15,000スイスフランの要請に対して、一般プロジェクト基金から全額支援することを決定しました。

### 放課後プログラム：プロジェクトの核心

このプロジェクトの中核となるのは、6歳から13歳までのウクライナの子どもたちを対象とした放課後プログラムで、温かい食事、学習支援、ルーマニア語のレッスンを提供しています。このプログラムは、創造的活動や身体活動を通して子どもたちの学習意欲を維持し、幸福感、感情の回復力、そして社会への統合を促進することを目的としています。

予算削減により他のセンターが閉鎖を余儀なくされた後も、ルーマニアYMCAは、バイア・マレの避難民ウクライナ人の子供たちに放課後サービスを提供する唯一の機関であり続け、トゥギャザーフード・プロジェクトを特に重要なものに行っている。

### 心理社会的支援と癒し

資格を持つウクライナ人セラピスト2名によるメンタルヘルスと心理社会的サポートが、このプログラムをより充実したものに行っています。「ジェントル・ペアレンティング・アプローチ」に基づいた個人療法とグループ療法を通して、保護者は、感情的に安心できる養育環境を整え、子どもたちの癒しと成長を促します。

### リーダーシップ開発

3月、ルーマニアYMCAはウクライナ出身の若手YMCAリーダー8名を対象に、国際研修キャンプを共催しました。このキャンプでは、包摂的なリーダーシップ、プログラム設計、安全対策、異文化学習などに関する研修が行われました。これらのセッションは、青少年指導者とキャンプリーダーの能力強化に役立ち、プロジェクトの持続可能性と長期的な効果の確保につながります。

### 最終成果と主な成果（2025年10月～11月）

12月に受領された最終報告書では、その期間中のプログラムの成果が以下のように強調されていました。

- 405食の温かい食事を提供
- 60人以上のウクライナの子供たちが教育、福祉、文化活動に参加した。
- 継続的な心理社会的支援を通じて家族の関与と感情的な回復力を強化した。
- 新たに到着した難民家族からの継続的な需要





## ハイライト：ハロウィーンのお祝い

10月末に行われたハロウィーンのお祝いは、この時期のハイライトとなりました。20名の子どもたちが参加し、自分たちで作ったり選んだりしたコスチュームを誇らしげに着こなし、テーマに沿ったゲームやパレード、そしてお菓子を楽しみました。多くの子どもたちが初めてハロウィンを経験し、楽しく思い出に残るイベントとなりました。

## 受益者の声

このプログラムの成功は、受益者の声に反映されています。

「息子は、毎日放課後プログラムを心待ちにしています。安心感を得て、学び、笑顔で帰ってきます。私たちにとって、この場所は恵みです。」

－アーニャ、母

「ハロウィーンパーティーは、この秋一番楽しかった日でした。今まで仮装したことがなかったので、みんなに見せられて嬉しかったです。こんな日が増えるといいな。」－ローマン、6歳

## 国際プロジェクトディレクターの言葉

国際プロジェクトディレクター兼ワイズメネット国際プロジェクトコーディネーターのジョイ・マクナマラは、この取り組みを称賛し、「プログラムがこれほど成功を収めていることを大変嬉しく思います。子どもたちが喜んでいる写真を見るのは素晴らしいことです。ワイズメネットの皆さんは大変誇りに思うべきであり、ルーマニアYMCAの取り組みは称賛に値します」と述べました。

## 今後の展望

ウクライナ難民の子どもたちとその家族は、YMCA が継続的なケア、指導、癒し、統合、コミュニティとのつながりの機会を提供することで、安全で支援的な環境の恩恵を受け続けることになります。

国際ワイズメネットとルーマニアYMCAの意義深いコラボレーションに心からお祝い申し上げます。このコラボレーションは、人々の人生を変え、より良い世界を築くというYMIの使命を体現するものです。ワイズメネットは、現在、2025/26年度に支援する新たなプロジェクトの模索を開始し、永続的な影響を与えるというコミットメントを継続しています。





# アフリカ地域ニュース

ジョアン・マティ アフリカ地域ニュース編集者

## BF代表のジャマイカ体験

BF代表のジェームズ・キジトは、ウガンダの同僚数名と共に、ジャマイカにて、元地域会長のサンドラ・ハミルトン博士とCS地域事業主任のナオミ・モリスに温かく迎えられ、歓待を受けました。キジトは、キングストン、ネグリル、マンチェスター、ポートランドを訪問し、カナダ/カリブ海諸国大会期間中のハリケーン後の清掃活動に加え、農学・科学・教育大学とキングストンYMCAを訪問し、現在進行中の活動や協力の可能性を探りました。



ジェームズは、今回の訪問を振り返り、「2025年のBFミッションは国際的な親睦を深め、カナダ/カリブ海諸国地域への理解を深め、ウガンダ部とアフリカ地域にとって新たなパートナーシップの機会を切り開きました。また、地域社会との有意義な関わりと貴重な文化交流の機会も提供されました」と述べました。

## コミュニティのエンパワーメント

2025年11月22日、ナイロビ・メトロYサービスクラブは、カマエ・スラムで地域奉仕プロジェクトに参加しました。このプロジェクトは、地域の10代の母親と子どもたち78人の自立を支援することを目的としていました。クラブは、母親と子どもたちに生理用品と軽食を寄付し、個人衛生と家族計画について話し合いました。



## カカメガの年末のお祝い

カカメガYサービスクラブは、11月29日、アマンダリゾートで活気あふれるディナーを開催し、迫りくる年末を祝いました。予想を上回る出席者数で、多くの会員が集まりました。参加者の大半を占めたワイズユースたちは、この夜に並外れたエネルギーと熱意をもたらしました。ゲストは、ケニアとコンゴ民主共和国出身のミュージシャンによる熟練のルンババンドによるライブパフォーマンスを楽しみました。年末ディナーは、親睦、感謝、そして奉仕への新たな決意を祝う場となりました。



## ワイズメンケア事業

2025年11月30日、マノジクラブ会長が率いるボツワナ・ワイズメンズクラブは、「ワイズメン・ケア」プロジェクトを成功裏に実施し、ハボローネ県カッパマディ村の家族に食料品を配布しました。会員の寛大な寄付によって実現したこのプロジェクトは、困窮している人々に不可欠な支援を提供し、クラブの人道奉仕へのコミットメントを反映するものです。このイベントの成功は、他の恵まれない村々への展開計画のきっかけとなり、クラブは現在、2026年2月に予定されている健康診断と献血キャンプである「ワイズメン・パルス・オブ・ライフ」プロジェクトの準備を進めています。



2025年12月11日、ウィリアム・サモエイ・ルート ケニア共和国大統領は、カカメガYサービスクラブの直前会長エリシャ・ゼベディ・オンゴヤにシニア・カウンセルの称号を授与しました。この名誉ある称号は、ケニアの法曹界で高く評価されており、英連邦における女王または国王の顧問に相当するものです。サモエイ・ルート大統領は、シニア・カウンセルを「誠実さの守護者、正義の擁護者、そして倫理的なリーダーシップの担い手」と評しました。エリシャがこの栄誉によって国民から認められたことは、YMIアフリカにとって大きな喜びと誇りとなりました。



## iGoインターンの最新情報

# メアリー・シミュ



デリーでの地域活動とナガラランドでのリーダーシップ研修を組み合わせた、インパクトのあるフェーズを経て、メアリーのiGoでの旅は、12月17日にデリーのYMCA本部で開催されたクリスマス親睦会で幕を閉じました。このイベントでは、事務局長エルド・N・Vからの感動的なメッセージが披露されました。3つのフェーズを通して、メアリーは、青少年活動、教育、リーダーシップ育成、女性のエンパワーメント、健康アウトリーチ、スポーツプログラムに積極的に関わり、プログラム設計、管理、コミュニケーション、チームワーク、そして適応力といったスキルを強化しました。

メアリーは、自身の経験を次のように要約しました。「インドYMCA全国協議会での活動を通して、YMCAが多様な地域奉仕活動によって、いかにして人々の生活に寄り添い、社会に貢献しているかを深く理解することができました。ユース、女性、そして地域社会へのエンパワーメント・プログラムの提供から、ワイズメンでの1年間の奉仕活動の記念まで、キャリアの成長に必要な共感力、回復力、そして戦略的な思考力を養うことができました。





# アジア太平洋地域ニュース

利根川恵子 アアジア太平洋地域ニュース編集者

## 行動する思いやり：マレーシアの幸福度向上

2025年10月19日、マレーシア・イポーにあるシルバーステートYサービスクラブは、精神・心理的問題を抱える方々のための地域密着型のフルサービスケアホーム、プサット・ジャガーン・ジェドを訪問しました。クラブメンバーは、40名の入居者と職員のためにbuffet形式の昼食を用意し、新品または少し使用感のある衣類を寄付しました。この2つの思いやりのある奉仕活動は、入居者と介護者の両方から温かい感謝の意を表されました。



## アデレードで175周年を祝う



1850年に設立されたアデレードYMCAは、ヨーロッパ以外では先駆的な存在であり、オーストラリアでも最初のYMCAの一つです。現在では、70カ所の拠点で1,300人の職員を擁し、250万人の来場者を迎えています。体操、キャンプ、ボランティアプログラムで知られるYMCAは、現在では社会福祉や健康に関する重要なニーズにも対応しています。「ユース議会」などの代表的な取り組みは、アデレードYサービスクラブからの財政支援を受け、年間100人以上の若者が参加しています。これは、地域社会におけるリーダーシップと奉仕活動の育成におけるYMCAとYMIの長年にわたるパートナーシップを反映しています。

175周年記念行事には、世界各地のYMCAリーダーの参加、「使命と起源」ワークショップ、総督官邸でのレセプション、そして特別ディナーが開催されました。これらの祝賀行事では、アデレードおよびオーストラリア全土におけるYMCAとYMIの永続的な協力関係が強調され、ボランティアの献身と地域社会への貢献が強調されました。

## 熊本YMCAで奉仕活動が花開く

熊本むさしワイズメンズクラブ会員の夫人たちは、熊本YMCAむさしグローバルコミュニティセンターの設立以来、花壇の手入れを通してセンターを支援してきました。センターは11月8日に30周年を迎え、記念行事において、女性たちの貢献が正式に表彰されました。



## 切実なニーズに応じて



香港部は、11月26日に大埔の王福院住宅団地で発生した悲惨な火災に対し、直ちに対応しました。この火災により、少なくとも160人が死亡し、多くの住民が避難を余儀なくされました。被災者を支援するため、香港部は、より広範な救援活動の一環として、生活必需品を詰めた救援バッグ300個を迅速に配布し、被災者を支援しました。

# カナダ/カリブ諸国地域ニュース

サンドラ・ハミルトン 元地域会長



## ハリケーン・メリッサの壊滅的な被害を受け、ジャマイカでの救援活動が続く

ヒールザワールド基金による国際的な支援と、世界中のYMIファミリーメンバー、特にカナダからの惜しみない寄付のおかげで、ジャマイカのYMIクラブは、同国で最も農業的に重要な地域の一つで、農村部の家族を支援しています。このプロジェクトでは、植栽資材や必須の化学薬品を提供し、人々が食料生産を再開し、生計を立てられるよう支援しています。当初は10世帯を対象としていましたが、さらに多くの世帯が加わり、コミュニティの若者から高齢者まで幅広い層が参加しています。この取り組みは、農業省、教育省、そして「ジャマイカ4H」と連携して実施されています。

現地訪問中、プロジェクトリーダーは、農家と面談し、作付面積の確定、契約条件の明確化、心理社会的支援に関するガイダンスを提供しました。今後4ヶ月間、参加者は、栄養、金融リテラシー、家庭生活と子育て、そして土壌検査、植え付け、作物管理といった実践的な農業スキルを学ぶワークショップに参加します。







## 毎年恒例のビンゴで地域住民が一堂に会する

ヘアニング・ワイズメンズクラブが主催し、2014年からヘアニングのヘデンスワイズメンズクラブの支援を受けている恒例のビンゴイベントは、協力、リーダーシップの共有、そして新たな活力によって再び活気を取り戻しました。広告、認知度向上、人気のギフトバスケットなどを提供してくれる地元スポンサーの皆さんからの力強い支援が、イベントの継続的な成功に大きく貢献しています。

この夜は、ビンゴ以外にもたくさんのお楽しみがあります。ビンゴガイによる賑やかなエンターテインメント、ボーディング・ドラム隊による音楽の華を添え、そして子どもには無料のアイスクリームを楽しみました。カラフルなメイン賞品、当選者の隣席の方へのサイド賞品、そして追加特典の「チャイニーズチケット」など、盛り上がりは格別でした。

参加者は、数時間前から列を作り始めることが多く、魔法瓶やピザの箱、そして熱い期待に満ちた、活気あふれる多世代の集まりとなります。このイベントは、地元企業の寛大な支援のおかげで盛況でした。彼らの寄付は、子供や若者向けの活動を支援するだけでなく、町全体が一堂に会して祝祭の夜を過ごす場となっています。

## 25周年を祝う

2025年12月9日、ソラ・ワイズメンズクラブは、ソルネス教会で25周年を祝い、YMCA、YWCA、スカウトの代表者、スポンサークラブやノルウェー区の他のクラブの友人らが出席した祝賀会を開催しました。

このクラブは、1997年に会合を始めた5人の先見の明のあるグループによって2000年に設立され、長年にわたりコミュニティ精神と社会貢献活動で知られています。

記念式典では、祝賀ディナー、スピーチ、歴史的考察、そしてゴラン・ビューベルグによる音楽演奏を交えた基調講演が行われ、YMIの価値観と、平和を促進し、世界をより良い場所にするというクラブの継続的な取り組みが強調されました。



新たに設立されたCEE（中央・東欧）セクションは、初のオンラインリーダーシップ会議を開催しました。この会議は、ボランティアの強いコミットメントと、東欧8カ国間の有望な連携を示すものでした。モルドバでは、政情不安のため活動が中断されていますが、選挙後に再開される見込みです。新しい会費制度は好調なスタートを切り、ほとんどのクラブが既に会費を納めています。

アンナ・ラシオヴァの自信に満ちたリーダーシップの下、チームは、将来の活動に向けた確固たる基盤を築きました。ブラティスラバでの開催を視野に入れたCEE合同会議の計画に加え、2025/2026年度予算策定に向けた最初のステップについても議論されました。

全体として、この会議は、地域協力と国際協力の両方を強化したいという願望に駆り立てられた、CEE セクションにとって力強く野心的なスタートとなりました。



# 国連デー

国連プロジェクト委員会メンバーのロイス・マラセリーが特定し要約した、1月の主要な国連記念日



ロイス・マラセリー  
国連プロジェクト委員会メンバー

## 世界点字デー

視覚障がい者にとって点字が重要であるという認識を高めます。

1月4日

## 国際教育デー

平和と持続可能な開発における教育の役割を強調します。

1月24日

## 国際クリーンエネルギーデー

クリーンエネルギーへの公正かつ包摂的な移行に対する意識と行動を促進します。

1月26日

## ホロコースト犠牲者追悼国際デー

ホロコーストの犠牲者を称え、将来の大量虐殺を防ぐための教育を推進します。

1月27日



# インド地域ニュース

ジョセフ・ヴァルギース インド地域ニュース編集者

## 中央トラヴァンコール区

### MISSYプロジェクト

国連の世界子どもの日を記念し、アラトゥプザ・ワイズメンズクラブは、AMMHSSスクールでMISSY（ワイズメンによる学生へのメンス自立支援）イベントを開催しました。会長のジャシー・トーマスが主導したこのプログラムでは、若い女性学生にメンスカップを無料で配布し、その目的と正しい使用方法についての明確なガイダンスを提供しました。また、ニートゥ・アイザックとビンドゥ・フィリップによる興味深い講演、そして看護師のビーナ・ジェイコブによる啓発セッションも行われました。



### 糖尿病予防ウォークソン

チェンガヌール・ワイズメンズクラブは、インド医師会と協力し、世界糖尿病デーを記念してウォークマラソンを開催しました。このイベントでは、地域住民が一堂に会し、糖尿病予防の意識向上、健康的な生活の促進、そして定期的な運動の重要性を訴えました。この共同の取り組みは、大変好評で、クラブの公衆衛生と社会責任への継続的な取り組みを反映するものでした。

## 中東区

### MERスポーツ大会

11月30日、プラティープ・ジョン理事は、中東区の年次スポーツフェスティバルの開会式を行い、250名を超える参加者を迎えました。シャルジャ・ワイズメンズクラブは、優勝トロフィー、行進優勝トロフィー、最大参加トロフィーを獲得し、優勝しました。アル・アインとドバイ・ワイズメンズクラブがそれぞれ2位と3位に続きました。クラブ会員は、イベント主催者、参加者、そして支援者に対し心からの感謝の意を表しました。シャルジャ・ワイズメンズクラブは、会長、書記、会計のリーダーシップが、力強く、意欲的で、活気に満ちたチームを築き上げたことの成果だと述べました。



## 中西インド区

### 糖尿病のためのヴィズメイ・ラン

インド中西区の支援を受け、YMIファミリーの101人の女性と子供たちが10月5日にヴィズメイ・ランに参加し、持続血糖測定システム（CGMS）機器の提供を通じて、1型糖尿病を患う250人の子供たちを支援しました。YMIは、提携団体から最多の参加者数を達成したことで賞を受賞しました。





## 中西インド区

### 医療キャンプ

ゾーン1は、プラティヤサ緩和ケア協会、カビタ・イベントハブ、SN医科大学、レイクショア病院と協力し、2025年11月17日にノース・パラヴールで大規模医療キャンプを開催しました。350人以上の受益者が、耳鼻咽喉科、一般内科、整形外科、婦人科、マンモグラフィー検査、そして必須医薬品の無料相談を受けました。キャンプは、ケララ州元大臣のS.シャルマによって開会され、プラディープ・Sがコーディネートし、第1部と第2部の25名のYMIファミリーの支援を受けました。

## 南インド区

### 創設者記念日のイベント

理事の主題「世界に足跡を残す」に敬意を表し、カライクディ・ワイズメネットクラブ（ダイヤモンドクラブ）は、創設者であるポール・ウィリアム・アレキサンダー判事への心温まる敬意を表し、筋力低下を患う6歳の男児の医療費として15,000インドルピーを寄付しました。また、クラブは、南中央部のヴィルドゥナガル1969クラブとマドゥライクラブと共に、カライクディのタユマナヴァル老人ホームに30,000インドルピーを寄付しました。



## 南中央インド区



### スポーツデー : Sportify

11月24日、第1部は、バンガロールYMCAグラウンドにYMIファミリーの男女125名を集めた運動会を開催しました。当日は、活気あふれる行進、スリリングな陸上競技、そして白熱したバレーボール競技が繰り広げられました。バンガロール・ジャヤナガルワイズメンズクラブが総合優勝、ホスール・ワイズメンズクラブが準優勝を果たしました。約250個のメダルと5つの回転式トロフィーが贈呈され、真のYMI精神にのっとり、友情を育み、思い出に残る活気あふれる一日となりました。

### 腎臓ケアプロジェクト: ジーヴァン・ジョティ

この区は、旗艦プロジェクトである腎ケア・プロジェクト「ジーヴァン・ジョティ」を継続的に推進しており、患者への透析と腎サポートの提供に新たなコミットメントを示しています。12月8日には、部レベルのキャロル歌唱コンテストが開催され、募金のためのくじの抽選会も行われました。20チームが参加し、1,000人を超える観客の前でパフォーマンスを披露しました。12月13日には、ホスコート・ミッション病院でプロジェクトの「第2章」が発表されました。





### 糖尿病医療キャンプ

第3部は、世界糖尿病デーを記念して無料の医療キャンプを成功裏に開催しました。この取り組みでは、地域社会に不可欠な健康診断、糖尿病管理に関する啓発活動、そして指導を提供し、健康と福祉の促進に向けた部の取り組みを反映するものでした。

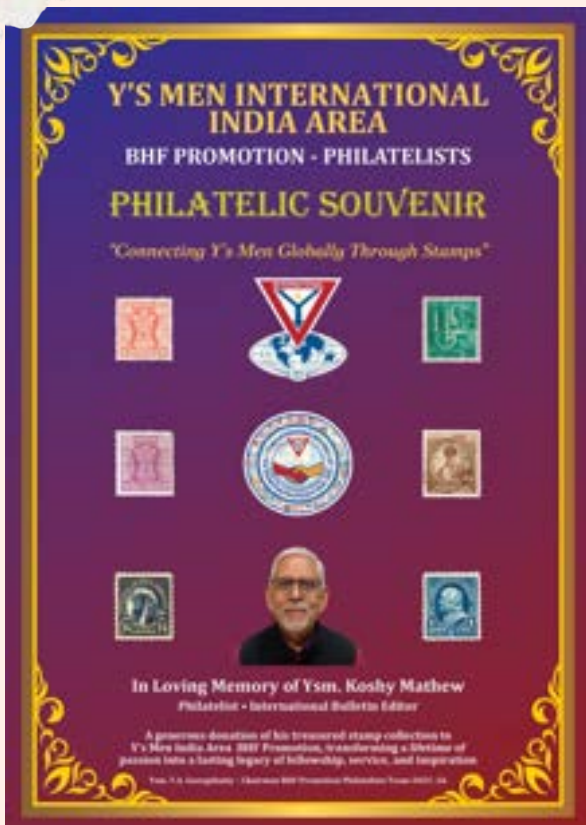


### 西インド区



### ホームレスのための家

創設者記念日を記念し、チャラクディ・ワイズメンズクラブは、孤児の姉弟アジュとアジュナに家具付きの3BHK（寝室3部屋、玄関、キッチン）住宅を寄贈することで、「ホームレスのための家」プロジェクトを完了しました。クラブ会員の全額出資による70万ルピーのこのプロジェクトは、フランシスP・S理事によって開所式が行われ、サニーシュクマールMLA、フランシスP・S理事、そしてクラブ会長ジョイ・カリパイに鍵が正式に引き渡されました。創設者記念日の誓約が朗読され、ケーキカットセレモニーが祝賀ムードを盛り上げました。このイベントは、多くのメディアで報道されました。



### 私たちの愛する記憶に

## コシー・マシュー

ワイズメンズクラブ国際協会インド地域からのこの切手記念品は、熱心なフィラテリスト

（切手収集家）であり、私たちの敬愛する元YMIワールド編集長コシー・マシューに敬意を表しています。「切手を通して世界中のワイズメンをつなぐ」と題されたこの記念品は、彼がBF基金に惜しみなく寄付した切手コレクションによって、世界中の会員への奉仕とインスピレーションというレガシーが築かれたことを物語っています。

# 韓国地域ニュース

チョン・ギョンジュ 韓国地域ニュース編集者

## ラオスのスアン・ルアン学校に衣類を寄贈



12月6日（土）、ワイズメンヘルパーズ（韓国のラオス海外ボランティア団体）は、ラオスのスアンルアン国立寄宿学校への寄付品として、衣類の仕分けと梱包を行いました。韓国の会員の温かい支援のおかげで、1トントラック2台分（2トン）の衣類が集まりました。全州ロイヤルクラブ（ハン・ユベ会長）と全州ワースウィズクラブ（イ・スンヨン会長）の会員は、週末を割いてこの梱包作業にボランティアとして参加しました。

## 韓国西区における会員拡大キャンペーン

韓国西区の333キャンペーンは、会員数の増加を促進しており、現在のクラブ会員数244名から333名への増加を目指しています。これまでに2つの新クラブが設立され、既存クラブへの加入への関心も高まっています。11月29日には、区合同研修とVIP招待宴会が組み合わされました。ワイズメンの普及、親睦の促進、そしてさらなる会員勧誘を目的としたイベントです。



## 2025年 韓国全南区 木浦ファミリートレーニングセッション



11月22日、全南区「メネット」研修会が木浦で開催され、YMIクラブ会員の妻や家族が参加しました。研修会では、健康教育やフラワーティーソムリエ養成講座などの魅力的な交流活動など、充実したプログラムが提供されました。





## 韓国のソウルフード、キムチを韓国全北区で作る

豊年ワイズメンズクラブ（キム・ギョンモ会長）は11月29日、キムチ作り体験イベントを開催しました。韓国の冬の定番料理であるキムチは、現代社会において多くの家庭で調理することがますます困難になっています。クラブ会員は100箱のキムチを作り、そのうち50箱を全州社会福祉協議会に、残りの50箱を完州郡龍津福祉センターに寄贈しました。

## 仁川区でサツマイモ販売によるボランティア募金

韓国仁川区（リー・カンイン理事）は、環境保護活動の一環として、唐津産サツマイモと莞島産ワカメを6年間販売し、地元の農水産物を支援してきました。昨年は仁川YMCAに4,500米ドルを寄付し、今年は2,800米ドルを寄付する予定です。特に、仁川済物浦ワイズメンズクラブ（キム・ヨンビン会長）は、仁川の児童養護施設「香津園」にサツマイモ20箱を寄贈しました。



## ブ・ウル・ギョン区のユース海外ボランティア活動

晋州チョクソク・クラブ（チョン・ボソク会長）は、11月21日から24日にかけて、フィリピン・マニラにある「ホーム・オブ・ラブ」孤児院を訪問しました。訪問中、彼らはノートパソコン10台を寄贈し、子どもたちと共にクリスマスツリーを飾り、食料を配り、共に食事をしました。チョン会長が1年以上かけて計画したこの活動は、クラブレベルの海外ボランティア活動の好例であり、キム・ジョンヒョン次期クラブ会長は、任期中もこのプロジェクトを継続する予定です。





# 米国地域ニュース

メラニー・カアイフエ・ヨシダ 米国地域ニュース編集者

## 米国で会員獲得キャンペーンが成果を

### 米国地域は、3つのクラブの設立を祝いました。

11月に開催された第26回南大西洋区大会において、ノースカロライナ州ウェスト・カバラスYサービスクラブが正式に設立されました。クラブ会長のヘザー・キーとクラブ創立メンバーに祝意が表されました。



2025年12月3日、トライアングル2・Yサービスクラブは、クラブ会長ロリ・スワンのリーダーシップの下、17名のメンバーを迎え、久しぶりにフロリダでのYMIの存在を再び安定させ、オーランドで設立を祝いました。



2日後の2025年12月5日、クラブ会長ジョシー・ヴァリアムプラカル率いるニューヨーク・ハドソンバレーYサービスクラブが、ニューヨーク・ウエストチェスターYサービスクラブのスポンサーで北大西洋区で設立されました。

米国地域は、会員数増加の機会を追求し続け、新規会員の誘致によって運動を活性化し、高齢化に伴う会員数の減少に対処する上で前向きな進歩を遂げています。





## 1世紀にわたるサービスとクリスマスの伝統

11月、マサチューセッツ州（北大西洋区）のウェイクフィールド・レディング・ワイズメンズクラブは、100年以上にわたる献身的な奉仕を称えられ、特別式典が開催されました。式典には、国際書記長ジョース・ヴァルギース、地域会長ジョセフ・カンジャマラをはじめとする来賓が出席しました。1923年に設立されたこのクラブは、ワイズメンズクラブ国際協会でも最も古くから活動しているクラブの一つであり、困っている人々を支援し、地域社会の強化に尽力してきた伝統を誇りとしています。



各YMIクラブは、1938年からクリスマスツリー販売による募金活動を行っており、ウェイクフィールド・レディングクラブもこの大切な伝統を守り続けています。今年もクラブは、友情、奉仕、そしてYMI流のコミュニティ精神を融合させたクリスマス募金活動を再開しました。



## アメリカのYMCA発祥の地を訪ねる歴史的な旅

国際書記長ジョース・ヴァルギースと地域会長ジョセフ・カンジャマラのボストンYMCA訪問は、両団体の歴史的な関係を再構築する上で重要な一歩となりました。米国初のYMCAであり、来年175周年を迎えるボストンYMCAは、YMCA運動の歴史において特別な位置を占めています。



ワイズメンズクラブ国際協会は、ボストン市内および郊外に複数のクラブを擁し、初期から強い存在感を示していました。現在ボストンにはYMIクラブはありませんが、今回の会合は、長年にわたるパートナーシップを再燃させ、ボストン地域に新しいクラブを設立する可能性を探る、前向きで心強い機会となりました。

## オーナーロールの表彰式



11月、米国地域のEF推進キャンペーンの一環として、北大西洋区から3名がEFのオーナーロールとして表彰されました。

アジュ・アレキサンダー（ニューヨーク・フローラルパーククラブ）、ルコース・ヴァルギース（ニューヨーク・ロングアイランドクラブ）、ジョセフ・マシュー（ニューヨーク・ウェストチェスタークラブ）の3名が、それぞれ1,000スイスフランをEFに寄付したことによりです。



第75回国際大会  
ミレニアム プラザ ダウンタウン ホテル  
ドバイ、アラブ首長国連邦

## ワイズメンズクラブ国際協会

### 2026年国際大会

2026年9月10～13日

夢の祭典

世界で最も未来的な都市で不可能な夢を夢見る

- 3泊4日のイベントプログラム
- 大会期間中の食事はすべて含まれています。
- 会場ホテルのツインシェアルーム（朝食付き）：1泊97米ドルから
- フレキシブルなエクスカージョン - 複数の現地体験からお選びいただけます。

#### スーパーアーリーバード

2025年11月15日～2026年1月31日

475米ドル

#### アーリーバード

2026年2月1日～2026年4月30日

495米ドル

#### 通常

2026年5月1日～2026年7月31日

600米ドル



スーパーアーリーバード（超早割）登録は、開始されています。詳細情報や登録についてはウェブサイトをご覧ください。

[www.ysmen.org/ic2026](http://www.ysmen.org/ic2026)